

コラム「海でつながる」

校長 中村 成希

国会新聞社で編集次長を務められ、現在は、ジャーナリスト・作家としてご活躍の「**宇田川敬介**」先生が来校されました。宇田川先生と言えば、TV番組「ビートたけしの超常現象（秘）Xファイル」で超常現象アナリストとして出演されていたので、こっちの方面でも知名度がある方です。学校法人八洲学園ともご縁があり、今回、学校新聞にコラムを寄稿して下さったのでご紹介します。

八洲学園大学国際高校の皆さんこんにちは。学校法人八洲学園の関連施設「Do-Ga Shinjuku」から毎月、基本的には第二火曜日に「秋葉原系アイドルでもわかるニュース解説」をお送りしている宇田川敬介です。

さて、私は以前、国会新聞社という日本の国会の中の機関紙を発行している明治10年から続く新聞社の取締役編集次長をしておりました。そのために、報道関係の人々とは一緒にいましたが、それとは別に「幽霊」と「陰謀」の研究ということでも何度かマスコミに出ています。年末のTV番組「ビートたけしの超常現象（秘）Xファイル」で超常現象アナリストとして出演なんかもしています。

現在の国会という建物は大正時代の末期に建てられたもので、現在の金額で約600億円かけられています。その後東京大空襲でも焼けることなく、現在まであるのですが、何しろ「権力欲」の中心で「国家レベルの嫉妬」が多くあるので、幽霊もすごく多くあります。ちなみに、今まで国会の中で亡くなった人というのは、職員などを含めて約150名いるといわれています。有名なのは、幽霊の研究では「戦後GHQ将校と付き合って捨てられて自殺した女性」が7階のホールにでてくるという話が有名です。なお、国会の人に幽霊の話を知ると「幽霊より人間の方が怖いよ」と必ず言われます。

さて、私が出演した「緊急検証！」という番組の中で、幽霊というのは「水」の所に多くいるということをお話したことがあります。日本の二大幽霊「お菊」「お岩」いずれも水にかかわりがありますし、「船幽霊」「海坊主」などは海に出没します。日本人の起源について、民俗学者柳田国男は「南方海洋民族説」を提唱し、南の島から「ヤシの実」と同じように海流、特に黒潮に乗ってやってきたと唱えています。そのために、インドネシアや台湾と日本の間には共通の文化も多くあるのです。これを黒潮文化圏といい、当然に幽霊の文化も同じような分布になっているのです。

現在私が所属しているのは千葉科学大学というところの入試広報部の参与として、ジャーナリストをしながらお手伝いをしております。銚子市には銚子妖怪伝説「海んばおさつ」があります。銚子の漁業の祖「大納屋次郎右衛門の妻」で、亡くなって黒潮に流されたといわれています。海の化身が乗り移って半狂乱になり多くの人が犠牲になったといわれています。その乗り移った化身はやはり黒潮に乗ってやってきたといわれているのです。

沖縄にも海の伝説は数多く残されています。千葉科学大学は海の近くにありそのような話を集めることも自由にでき、沖縄に「近い」大学ではないかと思えます。銚子に遊びに来た際には、ぜひ一緒に研究をしましょう。

ジャーナリスト・千葉科学大学入試広報部参与 宇田川敬介